

# 女性防災リーダーのネットワークの構築・自走化推進事業

担当府省庁：内閣府男女共同参画局

(事業費：30百万円 (R8)、対象種別：地域防災力向上支援事業、事業期間：R7～R9)

連携先：内閣府防災

## 事業目的

女性防災リーダー団体による全国的なネットワーク構築と自走化に向け、平時からの地域の防災力向上と災害時に女性の視点から迅速に被災者支援を行うための体制づくりを目指します。

## 事業概要

### (現状・課題)

令和6年能登半島地震においては、平常時からつながりのあった女性防災リーダーの団体が連携して、女性の視点から被災者支援活動を展開した事例もあったが、全国的には未整備。

### (取組内容)

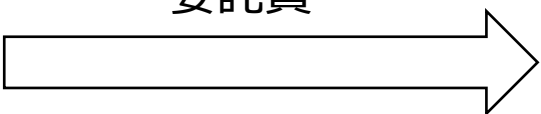
女性防災リーダー団体の全国的なネットワークの土台作りと運用準備を行います。

- ・ ネットワークの設計と合意形成
- ・ 情報共有・連絡体制の構築
- ・ 新規団体を含めた研修教材の活用と標準化
- ・ 災害時の連携シナリオ作成と机上訓練の実施
- ・ 中核団体との連携

## 事業のスキーム

委託費

国

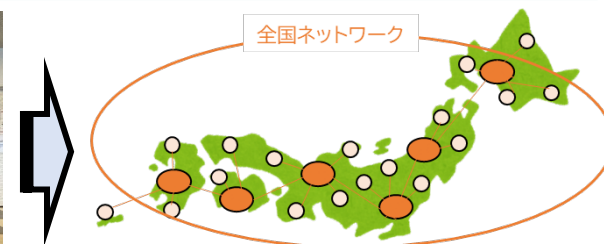


民間  
事業者

## 実施イメージ・具体例



R7には、女性防災リーダー団体との意見交換会や教材作成に向けたヒアリング等を実施。



R8では全国的な女性防災リーダー団体のネットワークの構築及び自走化を更に推進するため、土台作りと運用準備を行います。

## 事業により得られる効果 (アウトカム)

- ・ 女性防災リーダーが地域の防災活動に主体的に参画することで、災害対応等において女性、こども・若者、高齢者、障害者等の多様な視点を反映でき、地域の防災力向上につながります。
- ・ 平時から自治体や団体間との連携体制を構築しておくことで、特に避難所において女性をはじめ、配慮が必要な乳幼児・妊産婦、高齢者、障害者、外国人等の視点を踏まえた支援活動を、迅速かつ円滑に行うことが可能となります。